

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念として①私達はお年寄り一人一人の人格を尊重し、その人らしく「生きる」事を支え、心穏やかに過ごして頂ける様に努めます。②人と人のつながりと「和」を大切に協力し合い、助け合い、地域を心でつなぐ施設を目指します。の2点を掲げ、毎日朝の申し送り前の唱和は継続している。	○ 地域との交流の機会(花見大会、お祭り、地藏盆、防災訓練等)には積極的に参加するようにしている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○ 毎朝理念を唱和しながら、理念が常に頭にあるように職員に自覚を促している。機会ある事や、行事の際は地域の方へも声をかけさせて頂きながら地域との交流に努めている。	○ 今年も敬老会に参加して頂いたり、地域の花見大会、地藏盆への参加、10/29に小学校への福祉学習会の開催、餅つき大会へも参加の呼びかけを行っている。今後も機会あるごとに交流をしていきたいと考えている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○ 常に町の中を自由に歩いたり、自転車に乗ったりしながら、外へ出る事に努力している。その中で出会った時の挨拶が自然に出る事がお年寄り達に見られている。	○ 今回2回目の小学5年生の福祉学習会では「老い」と言う事から始まり、認知症の理解までを行ったが、子供たちの真剣な取り組みに感動している。今後交流の機会をもちながら、地域への認知症の理解を拡げていきたいと考えている。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○ 運営推進会議においても、いつでも、遊びに来て下さいと言わして頂いている。お隣の老人会会長さんは常に声を掛けて下さり、お花を植えていただいたり良い関係が続いている。又体調的に不安があると聞きにこられたりされている。回覧板も継続して回して頂いている。	○ 町内会の行事は今後も継続して可能な限り参加させていただきたいと思っている。平日頃からの散歩時の挨拶は欠かさず、普段からの小さい会話を積み重ねていきたいと思っている。小学生への福祉学習会も毎年継続して子供達に障害のある方や、認知症の方、お年寄りへのいたわりの気持ちを持って頂ける様煮に地道に活動を継続して行こうと思っている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○ 自治会にも加入させて頂き、地域の行事にも可能な限り参加させて頂いている。	○ 今後も同様に、地域行事には、積極的に参加させて頂くと共に、シルバー110番の開設を準備中である。来年に向けて地域貢献していければと考えている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在の町内会において、認知症の方が現在はおられず、勉強会を開催しても「健康な老後を送る」というテーマでヨガ体操を取り入れながら開催させて頂いている。上記にも記入したように小学5年生を対象とした福祉学習会は今年も実施出来ている。	○	今後も、福祉学習会の継続をしながら、小学生が気軽に施設を訪問してくれるように、交流していきたく思っている。又健康講座の第2段を設定中。シルバー110番の開設準備をしながら地域貢献をし続けていきたく思っている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	課題として上がった事に対しては前向きに考えている。前年度に指摘のあった所に対しては改善出来ている。	○	今後も常に課題を持ちながら、パート勤務者にも徹底して全員で課題に対して取り組んでいけるようにしていきたいと思っている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設後より2ヶ月に1度の運営推進会議の実施は継続出来ている。9月の会議は実際に敬老会にも出席して頂き、お年寄り達と交流して頂く事が出来た。	○	今後も会議を通して地域の方からの声に敏感に反応しながら、地域に何か出来る事を考えて行きたいと思う。現在竹屋町には認知症の方はおられず、高齢でもまだ現役で仕事をされている方が多いとお聞きしている。地域のニーズとしては健康で暮らす方法が希望のようである。地域の求められる事を考慮しながら、地域の方との関わりを今後も継続していければと思っている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在も市の介護保険課課長が毎回の運営推進会議に出席をして頂いている。その際にはお話しを頂きながら、その都度の課題に対して意見を述べて頂いている。毎月介護相談員さんの受け入れも継続中。	○	今後も継続して、市町村との連携は持たせて頂き、意見を聞きながら質の向上に取り組んでいきたいと思っている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、成年後見人制度の利用者が1名入居中。独居で身内のおられない方が1名入居中。成年後見人制度については、勉強会を開催。現在活用の為の話し合いはないが、今後あり得る事も考慮している。	○	今後も勉強会を重ねながら権利擁護に関する制度の知識を職員が深めていく予定である。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関してはこれまでと同様あってはならない事であり、現在まで、虐待の事実は認めていない。今後も細心の注意をしていく。	○	高齢者虐待に関しての勉強会が職員全員に徹底出来ていないので、今後実施予定である。認知症介護における職員のストレスも早目にキャッチし対応していこうと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践する為の体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	現在も契約時においては、十分に時間を取らせて頂き、お話しを伺う様にしている。又いつでも質問に対して受けさせて頂いている。1名御家族の都合で福井市の老健へ転居の際に必要な協力をさせて頂く。	○	今後も入居に対しての不安、疑問点に関しては納得がいかれるまで、対応させて頂きたいと思っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者さんとは、常に関わりを持ちながら、ご本人の意見を重視させていただいている。現在の所苦情箱も設置しているが、入っておらず。もし苦情や、不満に対しての意見があるならば誠実に対応していくつもりである。	○	入居者会議の実施を課題にしながら、今年は出来ていない事が反省点である。もちろん、不満や苦情に対して今後も誠実に取り組んでいき、職員全体として認識していきたいと思っている。そして以前と同様日頃の良い人間関係作りに努めて行きたいと思っている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の生活状態、健康状態を書いた連絡表を毎月現在も継続させて頂いている。金銭出納張のコピーも毎月送付させて頂き面会時に原本に確認印を押して頂いている。職員の移動に対しては毎年一回の家族会総会に報告させて頂いている。	○	今後も継続して左記の事実施予定。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や御意見は常に受付させて頂いている。重要事項説明書に市町村、国保連の苦情受け付け電話番号を明記。現在の所、苦情相談はなし。	○	家族さんに対する満足度アンケートの実施が外部評価以外出来ていない為、来年度の家族会総会時から毎年実施を計画している。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議、毎朝のミニカンファレンスを利用しながら、可能な限り意見を聞く様に努力している。	○	定期的な個人面談の実施。職員会議において職員が意見をいいやすい、環境作りを目指して行きたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の確保は出来ている為、現在の5変則勤務で対応出来ている。	○	今後、ご利用者の重度化に対して、その都度考え、変更していく方針である。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の適性を常に見極めながら、可能な限り馴染みの関係を保てる様に努めている。自己退職以外の異動はなし。	○	今後も理念である「和」を大切にしながら、良い人間関係で勤務出来る様に努力していき、必要時の個人面談をいれながら働きやすい職場作りに努力していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の施設内研修の実施。認知症実践者研修は毎年受講。グループホーム連絡会における研修への参加は積極的に行っている。	○ 今年新卒者一名を加え、段階的な研修が行えたかと言うと反省点も残っているが、夜勤など二人体制で、慣れるまで対応できたと思っている。今後も人材育成に関して努力していきたいと思っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年舞鶴グループホーム連絡会を立ち上げる事が出来、3ヶ月に1度のペースで各グループホーム順番に研修会を実施している。各事業所の交流・連携が向上している。	○ 舞鶴におけるグループホーム連絡会の発足により、今後色々な研修内容が充実出来るように各管理者が協力、支援出来る様に努力して行きたいと思っている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	認知症介護における職員のストレスは様々ですが、職員がストレスを溜めない様に早目の声かけに努め、食事会や飲み会の機会を進めている。時には個人的な食事会も実施している。	○ 職員相互の親睦やストレス軽減の目的で、不定期な食事会、スポーツ大会の実施を検討している。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	以前と同様に管理者は事業所職員の報告を行い、努力している事や優れた事に対して声に出して評価している。	○ 評価出来る事はしっかりと声に出し、褒めて行くことを今後も実施していきたいと思っている。今後その上で賞与等に反映していけるように努力して行きたい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症の方の不安感のはかり知れなく、それを上手く表現出来ない事を理解しながら良い関わりが持てるように努力している。そして色々な事に気付く事を常に言い続けている。	○ 当ホームの年間目標の一つとして「お年寄り一人一人の思いにより添い関わる努力をする」と言う事を挙げ、勉強会等を繰り返しながらお年寄りの思いに気付く努力を今後も行っていきたいと思う。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	現在も以前と同様に相談から利用前の面談にも十分時間を掛けさせて頂き、お話しさせて頂き、機会あるたびに声を掛けさせて頂いている。	○ 今後も不安な事や要求したい事が言えないと言う事が積み重ならない様に会話を持ち続けながら普段からの人間関係を大切にしていきたいと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	切羽詰まって申し込みに来られる方もあり、グループホームの待機日数が長い事を説明させて頂きながら、その際はお話を聞かせて頂き、認知症対応型の通所サービスや、短期入所、老健等のサービスがある事を説明させて頂いている。	○	今後も同様に相談時、必要ならば色々なサービスの説明や受診の必要性などを説明させて頂こうと思っている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	認知症の方はその時に納得されても、時間の経過とともに、納得も薄れられているのは同様であるが、今後も御利用前はいきなり入居ではなく何回か来て頂いたり訪問させて頂きながら、慣れていって頂きたいと思っている。	○	入居前に馴染んで頂ける努力を今後も継続して行なおうと思っている。来春から通所サービスも開始予定の為待機者の中から通所へ持っていけるように働きかけていく予定である。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	認知症ケアの基本的な態度としてスタッフ全員が認識し、一緒に生活させて頂いている。スタッフが時に一人のお年寄りのケアに関わっている時、自主的にお手伝いして下さり大変助かっている。	○	今後も同様にお年寄りと一緒に共存しながら相互で支え合える関係作りに努力していきたいと思う。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常にご家族に連絡を取りながら一緒に考え、協力させて頂いている。	○	今後も継続して御家族とは良い人間関係を築ける様に努力しながら、何事に対しても一緒に考えさせて頂こうと思っています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	グループホームの入居により、家族と疎遠にならない様に常に連絡を取り合いながらいつも協力を求めている。年一回の家族会総会や敬老祝賀会の家族出席は100%である。今年入居された方の長女さんが重度障害を持たれており、今までのご家族との関係の時間を大切にさせて頂ける様に支援している。	○	今後も継続して、良い家族関係を持って頂ける様に支援していきたいと思う。そしてそれが家族さんの負担になっていないかどうかをいつも考えながら支援させて頂きたいと思っている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り今までの生活を継続出来る支援でありたいと常に思っている。いきつけの美容院、主治医は継続して頂けるように援助している。その為にも今までの生活をしっかりと情報収集しておくことが大切だと思っている。	○	今後も色々な事に耳を傾けその人の事をよく知る努力を継続しながら、今までの馴染みの関係を大切にしていきたいと思っている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の生活の中で時々トラブルは見られながら、それぞれの持ち味を活かされ皆さん良い関係が築かれてきていると感じている。私達は見守り、喧嘩も認めながら良い関係が築かれる様に支援している。	○	一人一人の個性があり、合う合わないも生じてくる事を考慮しながら、円滑に気持ち良く暮らして頂ける努力を今後も継続していきたいと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在の所、退去後継続的な関わりが必要がある方がいらっしゃるが、退去後の情報は時々お出合いした時にお聞きしている。	○	グループホーム入居されるとなかなか在宅復帰が難しい現状ですが、今後も在宅復帰に関して諦めずに支援していければと思っている。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	当グループホームにおいての処遇方針でもあるように、常に利用者の立場に立ち、本人の思いと権利を尊重する事に努めている。その為にもセンター方式シートを利用して本人の思いを気付けるアセスメントを行っている。	○	今後も継続してその人らしく、その人の思いに沿った支援が出来る様に努力し続けていきたいと思っている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人らしく、今までの生活を継続して頂くためにはこれまでの生活をしっかりと把握する事が必要である事を理解しながら、事あるごとに、今までの生活を振り返ったカンファレンスをする事を心掛けている。	○	今後もセンター方式シートを利用しながら、常にその方らしく生活出来る様に支援していききたいと思っている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	私達は常に出来ない事に視点を置くのではなく、出来る事探しをしながら、支援を広げて行ける様に努力している。	○	今後もその方に合ったその人らしさが発揮された生活をして頂ける様に支援していききたいと思っている為その方としっかり関わりながら、知る努力をしていききたいと思っている。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現在も朝のミニカンファレンスや毎月の職員会議でご利用者の事を話し合い意見を出し合っている。又ケアプラン更新時に受け持ち担当者とカンファレンスを行いケアプランを仕上げている。	○	今年度よりケアプランにそった記録を行う事により、常に全職員がケアプランの把握の徹底が出来る様になっている為、見直しを含め、スタッフの意見が反映される様に今後も取り組んでいきたいと思っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	予定期日より遅れる事も現状としてあるが、大体状態変化時に対応は出来ている。	○	徐々に重度化になりつつある現状の為、今後も状態に応じたケアプランになるように努力していききたいと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状況に応じて多少文章化する事が送れる事もあるが、スタッフの意見を聞きながらより個別性のあるプランを心掛けている。	○	今後も継続して個別性のあるケアプランにして行ける様努力していきたいと思う。記録の中のアセスメントを記入する欄にスタッフの思いが少しでも多く記入出来る事を願っている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在はグループホーム以外のサービスとして同一建物内の併設通所サービスのみであるが、行事やレク、演芸関係の催しものは参加させて頂いている。	○	来春からグループホームにおいても、通所サービスを計画中である。在宅復帰を諦めていない為、状況に応じてその方にとって一番良いビスを選択して行きたいと思っている。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	認知症の方が安心して暮らせる町作りは地域密着型サービス事業所において不可欠な事である為、運営推進会議への地域の方の参加や、昨年より小学生向きの福祉学習会などを実践している。	○	今後も地域に向かって継続して認知症を理解して頂く事を実践しながら、少しでも地域に貢献していければと思っている。そして認知症の方が安心して住める町作りを実践していきたいと思っている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	もちろん、利用者本位であり、御希望を優先していこうと思っている。	○	必要時は積極的に本人と御家族の意向をお聞きしながら、今後も支援させて頂きたいと思っている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の所、一名が抱括支援センター経由のご利用者さんがおられるが、必要時は、しっかりと協働させていただきたいと思っている。	○	今後も必要時、抱括支援センターや関係機関と連携していきたいと考えている。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御利用前からのホームドクターを継続して頂いている。又医療連携の面からも緊急時の医療連携もとられている。	○	今後も必要時に必要な治療を受けられるように医療連携をとらせて頂きたいと思っている。

ハーモニーグループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>認知症が進行し、今後様々な状態変化が予測される中、常に医療と連携をとりながら、適切な対応を支援していると思っている。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>普段は介護職員が入居者と接する機会が多く状態の把握が出来ていることから異常時の早期報告を今後も徹底しながら看護職と良い連携を持ち続けたいと思っている。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>今後も入院された場合は可能な限り退院後も受入させて頂く方針である。グループホームに帰ってこられる事で苦痛が増強しない事を方針とさせて頂きたいと思っている。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>今後もその都度話し合いながら、ご本人にとって一番良い方法を選択していきたいと思っている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後も急変時の対応の研修を重ねながら、チームワーク良く終末期を支えて行き、最期まで穏やかな時を過ごして頂ける様に支援する。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>家族間の問題や、色々な問題で転居の可能性は今後、出てくる事を考えながら、より良い方向に行く様に最大限に協力させて頂きたいと思っている。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	認知症の方に関しては常に見守りを必要としながら、常にプライバシーを考慮する事が必要である。安全に見守る事の必要性和不要な声かけや、制限を行わないケアのあり方について、今後も討論する事が必要だと思う。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	今後も変わりなく、ご利用者本位に考えながら、ご本人の気持ちに寄り添った支援をさせていただきたいと思っている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○	今後も自由にその方のペースで生活して頂ける様に援助する事を基本にしながら、生活全般にお年寄りを巻き込んで過ごさせて頂きたいと思っている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○	男女問わずやはりおしゃれに対して皆さん思いがある事を認識し、好きな、似合うおしゃれを楽しめる様に支援していきたいと思っている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○	今後重度化し、誤縁しやすくなったり、食べる動作自体が出来なくなる事を考慮しながら、その方が食べて頂けるように、努力し続けていきたいと思っている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	今後も大好きなものは、どんどん取り入れて頂ける様に支援していこうと思っている。その中でも良い事、悪い事は見極めながら嗜好への支援をしていこうと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	確かにおむつはずしに対しての支援は必要なことと思われるが、老化に伴い少しの腹圧で尿失禁につながる方もおられる事を考慮し、他人の前で尿失禁を見せない配慮も必要な事と思っている。その上で排泄チェック表を利用しトイレ誘動し、パンツ汚染に努めている。	○	排便コントロールが必要な方も多くなっている現状の中、下剤に頼らず自然排便が出来る様にもう少し努力が必要かもしれない。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介護の人手がかかる方以外はなるべく希望に応じ、外出やレクリエーションを優先させて頂いている。	○	時には場所を変えてディサービスの大きな風呂を利用させて頂いているが、温泉にはまだお連れした事がなく、今後計画して楽しい思い出を作っていきたいと思う。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居のお年寄りの中には一日中寝て過したい方もいらっしゃるが、一日の中でもメリハリをつけながら、援助させて頂いている。しんどい時や眠い時は長時間にならない様に休んで頂いている。	○	認知症の方は疲れてこられると不穏になったり、落ち着かなくなる事が多く、今後もその方の状態を把握しながらゆっくりと休んで頂ける様に配慮していきたいと思っている。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご自分の好きな事をされている時はやはり良い表情をされており、出来る力の発揮をして頂くために常に努力させて頂いている。ご本人が、何を望まれ何を楽しいと思われるかを把握する事が大切であると認識している。	○	今後も継続してご利用者が充実した楽しい日々を送って頂ける為に努力させて頂きながら、ご本人の好きな事、出来る事を探す努力をしていきたいと思っている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分のお金をご自分の力で管理して頂く事が理想だと思いますが、金銭管理の出来る方が現在誰もいらっしゃらなくなってしまい、ホームで管理させて頂いている。欲しいもの、必要な物は必ずご本人、御家族の了承を得て購入させて頂いている。	○	金銭管理は今後もご利用者の希望に沿って、支援させて頂きながら、出納を明確に御家族に報告する事を継続していこうと思っている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り外出の機会を多く作る努力は日々行っている。	○	今後も外出の機会を最大限の努力をさせて頂きながら、状態に応じた個別的に対応させて頂きたいと思っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご入居の皆さんが一度も行った事がなかったと言う回転寿司の夕食や、今年も遠出のドライブなどを実施している。	○	個別的な対応が出来ていないので、来年こそは誕生日などにその方の行きたい所、したい事を計画して実施出来る様にしていきたいと思っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各居室に電話線は設置しており、電話の持ち達は自由にして頂いている。自分で電話を掛ける事が難しくなっておられる方もおられるので、必要時は援助させて頂いている。手紙が来たら必ず返事を書かれる方がいらっしゃるの、希望に沿って援助させて頂いている。	○	今後も通信面への援助は御希望通り自由に支援させていただこうと思っている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定もせず、自由にいつでも来て頂けるようにしている。面会時にご利用者の居室かソファの場所等でお茶をお出してくつろいで頂ける様にさせて頂いている。	○	今後も面会はどんどんとして頂ける様に、働きかけ面会時に不快な思いをされないように気配りし、気持ちの良い対応が出来るようにしていきたいと思っている。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。	○	今後も身体拘束は行わないが、身体拘束に対しての理解を深める為の勉強会を来年の二月に計画し、色んな方面からの身体拘束に対しての理解を深めたいと思っている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則は鍵をかけていないが、人手が必要で、ホール内が手薄になった場合のみガード番のスイッチを入れて外へ出られたらチャイムがなるようにしている。	○	今後も日中は鍵をかけない方針は継続する。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守りの必要な方ばかりの為、一緒に関わりながら、さりげなく見守り出来る様に努力している。夜間も定期的な巡室を行い記録している。	○	今後も安全に生活して頂ける努力を惜しまず、さりげなくしっかりと見守らせて頂きたいと思っている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	火の元になるものだけは、ホームで管理させて頂き、あとは、問題なければ自由にして頂いている。常に見守りしながら、危険の早期発見に努め対応させて頂いている。	○	今後もご入居者の能力を考慮させて頂きながら、危険の回避に努めながら、ご本人の思いも考慮していきたいと思っている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に事故や緊急時を考え危機感を持って勤務して頂ける様に言わして頂きながら、緊急時の勉強会なども実施している。救急講習会や避難訓練も実施している。	○	何が事故につながるかがわからないのが現状であるが、常に危機感を持たながらご利用者を事故から守って頂けるように日々研鑽していく必要がある。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1年に一度の救急救命講習の実施。地域の方にも来て頂き第2段をする予定である。施設内研修も緊急時の対応について実施。	○	今後も定期的に緊急時の対応について勉強会を積み重ねていきたいと思う。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	台風時の風水害に対しては今年も大変危機感を持ち早目の対応を心掛けた。避難場所の確認と一次避難としては2階へ避難予定である。運営推進会議においても緊急時の地域の方への協力を依頼させて頂いている。1年に一度の消防訓練を実施している。	○	今後も避難訓練を積み重ねながら、緊急時にしっかり対応出来る様に努力していきたいと思っている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	可能な限り、危険に対して予測し回避を行いながら、その時の状況を密に御家族に報告し相談させて頂いている。普段の関係を良好に保てるように努力しながら万が一の時は誠実に対応させて頂いている。事故を恐れるあまり、拘束につながらない様にきをつけている。	○	今後も常にリスクを頭に入れ、危機感を持って対応させて頂き、その都度御家族と相談させて頂きたいと思っている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルサインのチェックの継続。普段と違う状態であれば、すぐ看護職に報告する体制である。それぞれのケアプランにも記載し、実施している。	○	2名の看護職と不在の場合は2階のディサービスの看護職員との連携がとられている。今後も異常の早期発見に努め早期対応を心掛けて行く。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者お薬リストを作成している。内服の変更や、追加になった場合は必ず連絡張に記載、注意点を記入している。	○	今後も服薬に対しては細心の注意を払いながら確実に正確に対応させて頂き症状の変化に注意していきたいと思っている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘傾向に傾きやすい方が多く、時には下剤も服用していただいているが、下剤までに乳製品や、芋類、野菜類で調整させて頂いている。便秘が続くと不穏がひどくなられたり、食欲不振にもつながっている為排便管理は力を入れている。	○	今後も便秘予防の食事管理や適度な運動、水分摂取に努めながら自然排便になる様に努力して行きたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを原則として援助、声かけを行っている。義歯の方は眠前に洗浄剤につけて頂いている。	○	口腔ケアは、感染防止や肺炎防止に対しても重要な事である為、今後も口腔内の清潔保持に努めていき、みがき忘れの無い様に徹底していきたいと思っている。

ハーモニーグループホーム

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食分量、水分量は排泄チェック表に記録し把握に努めている。むせの強い方1名に対して、水分はとろみにし、刻み～ミキサー食にして食べて頂いている。状態悪化により、一時胃ろう造設まで話しが出ていた人がおられたが、現在は経口摂取が可能になっておられる。好き嫌いに対してはその都度対応させて頂いている。	○	年月を経過し、重度化傾向になりつつある方もいらっしゃるが、可能な限り、食べる楽しみを持ち続けて頂ける様に、努力していきたいと思っている。そして食分量が不足の時は補液をしながら体力の維持に努めていきたいと思っている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	基本的には、食前の手洗い、外出からの帰宅後のうがい、手洗いの励行は実施している。感染症に対しての勉強会の実施。感染症マニュアルの作成。インフルエンザ等毎年予防注射を実施している。	○	今後も感染症対策には勉強会を含め、予防に力を入れて行きたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、買い物し、食材は余らせない様に努力している。調理器具などのハイター消毒。布巾類は専用洗濯機で毎日洗濯している。又食事担当者が体調不良(特に下痢、嘔吐)がある時は交替している。	○	今後も、冷蔵庫等の掃除はマメに行い、食材も使い残さない様にすることを継続して、ハイター消毒は毎日実施し、衛生面には留意していこうと思っている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りの整理・整頓には常に留意し玄関の置物は季節に応じたものを置く様にしている。特に工夫はしていないが、いつも鍵を開け開放いつでも訪れて頂ける様にしている。	○	グループホームの玄関には四季折々の写真や、お年寄りの水彩画の作品を展示させて頂いている。訪問して頂いた人が楽しんで頂く空間作りは今後も考えていきたいと思っている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔面は常に気をつけており、特に臭いに対しては不快な臭いがない様に日々掃除をまめにし清潔に留意している。生活感や季節感を持って頂ける様に玄関には四季折々の風景写真を季節ごとに張り替えて頂いている。花はなるべく季節の花を飾る様にしている。	○	今後も清潔第一に普段からの掃除をまめにし、汚れたらすぐに掃除する事を心がけていきたいと思っている。そして楽しみと季節感のある展示物を心掛けて行きたいと思っている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	確実に一人になれる空間は居室しかないが、ご利用者それぞれ、くつろがれる場所を持っておられる為その時間を大切に過ごして頂いている。	○	ホールに死角がなく、ほっとする空間が難しいかもしれないが、来春の通所開始に向けてくつろげる場所作りを現在検討中である。

ハーモニーグループホーム

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り今までの愛用されていた物を持ち込んで頂ける様 にお願いしている。一人の方は電話機もダイヤル式のものを 設置されている。	○	昼間はご利用者の方ほとんどお部屋に帰られず、ホール で過しておられるが、居室
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	換気扇は常に作動し適宜窓を開け換気を行っている。温度 調節はその時に応じて冷暖房をしている。ご利用者によって 寒がりの方や暑がりの方がいらっしゃるので居室は希望に応 じている。	○	湿度、温度に対しては特に今後も気をつけながら、快適に 生活して頂ける様に努力して行こうと思う。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	建物の床はすべてバリアフリーになっており、必要な箇所に 手すり設置している。浴槽にはすべり止めシート使用し安全 面には配慮している。	○	安全な環境が自立を高める事を認識しながら、状況を常に 見守らせて頂きながら必要な事は早急に対応出来る様に 今後も努めて行きたいと思っている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	その方の力を最大限に引き出せる事が私達のケアの方針で もあるので出来ない部分への支援をさりげなく行う様にして いる。	○	常に手を出し過ぎず、出来ない部分へのさりげない援助を 今後もしていき、その人の出来る力を活かしていける事に 対して今後も努力して行きたいと思っている。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	手作りの畑や花壇があり、四季の花や野菜作り、収穫を楽し んで頂いている。又12月はクリスマスのイルミネーションを裏 庭に飾り夜間の点灯を楽しんで頂いている。	○	季節ごとの行事を今後も積極的に取り入れながら、施設内 だけでなく、外周りも楽しんで頂きたいと思っている。そして 地域の方にも喜んでいただきたいと思っている。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

ハーモニーグループホーム

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○音楽療法は継続して、定期的なコンサートを含め日常から音楽に親しんだ生活を送って頂いている。ご入居の皆様が歌が大好きで毎日のように懐メロを口ずさんでおられる。形式的な音楽療法だけではなく、何気ない暇な時間楽しく歌を歌ったり聞いたり出来る時間を大切にしている。

○これは基本的な事かもしれないが、処遇方針にもあるように、質の高い心のある介護をモットーにお年寄りを全スタッフが大切にしてくれている。